

# 目 次

## 1. 結核化学療法の基礎的研究

第68報 結核マウスを用いての研究

第2編 結核マウスに対する SM と PAS または OM との併用治療の効果について…………… 毛 利 正…… 1

## 2. 結核化学療法の基礎的研究

第69報 INAH 及びその誘導体を用いての発病阻止効果について

(第2編)…………… 西 村 博 顕…… 9

## 3. 結核免疫に関する研究

第19報 結核菌菌体浸出液の免疫学的研究

第4編 BCG 浸出液について…………… 山 本 純 夫……19

## 4. 結核免疫に関する研究

第20報 結核免疫ならびにツベルクリン過敏性の他動的移行に関する

研究…………… 中 口 彰……27

## 5. 細菌の薬剤耐性に関する研究

第13報 結核菌に対する Isonicotinic acid hydrazide またはその誘導体と

Pyrazinamideの併用効果に関する研究…………… 村 上 康 正

高 岡 裕・中 口 彰・古 本 節 夫……39

## 6. 抗酸性菌培養ろ液の各種細菌の発育に及ぼす影響に関する研究

第2編 結核菌培養ろ液中の細菌に対する発育増強因子に

ついて…………… 宮 元 秀 雄……55

## 7. 結核アレルギーの組織学的研究

第7報 ツベルクリン分画による皮内反応の組織学的研究

第1編 ヒト型結核菌感作ウサギにおける実験…………… 稲 葉 隆……73

## 8. o-Aminophenol に対する D-Glucuronolactone ならびに Sodium D-Glucuronate の

解毒の効果について…………… 大 滝 武 雄……85

## 9. 赤血球の Streptolysin S 感受性に対する諸種物質（特にタンニン酸

構成物質及び蛋白質試薬）の影響についての検索…………… 川 尻 清……89

## 別 録

Viscero-Cutaneo-Vascular Reflex and Its Clinical Significances (英文)

…………… TACHIO ISHIKAWA

頁	行	誤	正
106	表4, t 欄	$2.6 > t > 1$	$2.6 > t > 2$
106	表4, t 欄	$> 1$	$< 1$
108	右 24	$S_D = \sqrt{(m_1)^2 + (m_2)^2} \frac{D}{S_D} (t) \geq 2$	$S_D = \sqrt{(m_1)^2 + (m_2)^2}$ を用いて $\frac{D}{S_D} (t) \geq 2$
108	右 30	$M_1, M_2$	$M_1 < M_2$
108	右 34	不偏分散を	不偏分散 ( $u^2$ ) を
109	左 6 7	C) 基準液による反応の小なるものこの3者の	C) 基準液による反応の小なるものこの3者の
109	右 21	接種群	接種者群
110	左 25	$M_1 < M_2$	$M_1 > M_2$
115	表 3a	OT における成績	OT 併用における成績
115	表3a, $M_1$ $\pm m_1$ 欄	2.1 $\pm 1.06$	21.4 $\pm 1.06$
116	表 3a, S=D 欄	33 (27.3)	33 (27.7)
119	表 3c, F分布表との 比較 欄	$> 4.84$ $(5\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{11})$	$< 4.84$ $(5\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{11})$
119	表 3c, F分布表との 比較 欄	$> 4.26$ $(5\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{24})$	$< 4.26$ $(5\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{24})$
122	表4, Ratio( $\frac{M_1}{M_2}$ )欄	1.30	1.03
123	表4, F分布表との 比較 欄	$> 8.02$ $(1\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{20})$	$> 8.2$ $(1\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{21})$
123	等反応対角線 表4, による区分 (上ラン)	$S < D$	$S > D$
124	表4, F分布表との 比較 欄	$> 8.29$ $(1\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{28})$	$> 8.29$ $(1\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{18})$
126	表4, F分布表との 比較 欄	$> 4.21$ $(5\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{27})$	$< 4.21$ $(5\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{27})$
126	表4, $\frac{S(\pm)}{D(\pm)}$ 欄	0 1 1 0	0 1 0 1
127	表4, F分布表との 比較 欄	$> 4.54$ $(5\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{15})$	$> 4.54$ $(5\% \frac{n_1}{n_2} \frac{1}{15})$
132	10	実 成 成 績	実 験 成 績
132	実験成績右6	$M_B < M_H$	$M_B > M_H$
133	結論 右1	接 種 に	接種者に
136	左 10	(6×6 cm <sup>2</sup> 判)	(6×6 cm 判)
136	左 19	$X^1 = \text{OA-Azo-T"BCG"-OT}$	$\chi^1 (X^1 = \text{OA-Azo-T"BCG"-OT}),$
138	左 18	10γ0.1ml	10γ/0.1ml
138	総括ならびに考案 右 8	3 種	2 種
139	結論 右4	検した,	検した後,
146	表6, (註)右の下端	A……膿瘍	A……膿瘍

金沢大学結核研究所年報 第18卷(上)

昭和35年6月20日印刷  
昭和35年6月30日発行

〔非売品〕

発行所 金沢大学結核研究所 金沢市土取場永町15

編集兼発行者 柿下正道 金沢市土取場永町15

印刷所 合資会社活文堂 金沢市殿町9番地

印刷者 宇野孝 金沢市殿町9番地